

獣医学科 VMD

Department of Veterinary Medicine

教育研究上の目的 獣医学は、動物医療を根幹として、動物の健康維持・増進を図るとともに、ヒトの健康と福祉に貢献することを目的としている。その達成のために、生命活動のメカニズムの探求や疾病の診断・治療・予防はもとより、公衆衛生、野生動物の保護及び環境保全など幅広い領域に対し、社会のニーズに応えることができる知識と技術を有した獣医師を養成する。

卒業の要件 獣医学科の学生が卒業するために必要な単位数は、次のとおりです。
これは最低単位数ですので、これ以上の履修が望まれます。

・教養教育科目	必修科目	13 単位
	選択科目	11 単位以上
・専門教育科目	必修科目	150 単位
	選択科目	10 単位以上
・合計（卒業最低単位数）		184 単位以上

進級の条件 ①専門教育科目

下記の a または b に該当する場合は進級できません。

- 各年次の終了時までに配当された必修専門教育科目のうち、未修得科目が 8 単位以上ある場合。
- 各年次の終了時までに配当された必修専門教育科目の実習科目で、未修得科目がある場合。

②教養教育科目

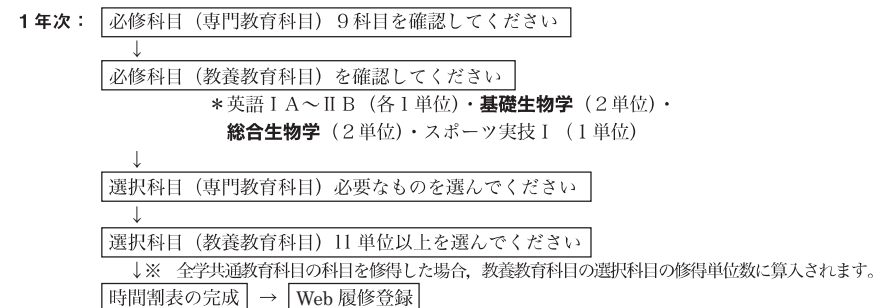
5 年次への進級にあたり、卒業要件を満たすための教養教育科目は、4 年次終了時までに全て修得してください。

他学科及び他学部履修科目、基礎専門科目の単位認定 他学科及び他学部開講科目及び基礎専門科目（「海外フィールド実習（1 単位）」について、履修及び登録は認めますが、当該修得単位は進級及び卒業に必要な単位数に算入しないものとします。

獣医学共用試験：全国の獣医系大学共通で実施される獣医学共用試験は、コンピュータを用いて知識を評価する vetCBT（veterinary Computer - Based Testing）と、診察技能・態度を実技で評価する vetOSCE（veterinary Objective Structured Clinical Examination）で構成されます。本学では 5 年次後期開始までに実施され、この試験に合格していることが総合参加型臨床実習の履修条件となります。

在学期間の制限：コアカリキュラムによる履修のため同一年次に 3 年間を超えて在学することはできません。ただし、休学等の場合には教授会の審議により更なる年数の在学を許可することがあります。

履修の方法 次の手順で自分の「時間割表」を完成してから、Web 履修登録してください。
→「履修及び諸手続」の「5 履修登録について」を参照



- 2 年次**：
- 1) 専門教育科目の必修科目：18 科目を必ず登録してください。
 - 2) 教養教育科目の必修科目：英語Ⅲ A～Ⅳ B（各 1 単位）を必ず登録してください。
 - 3) 専門教育科目の選択科目：必要なものを選択して登録してください。
 - 4) 教養教育科目の選択科目：必要な単位数分以上選択してください。

- 3 年次**：
- 1) 専門教育科目の必修科目：23 科目を必ず登録してください。
 - 2) 専門教育科目の選択科目：必要なものを選択して登録してください。
 - 3) 教職・学芸員課程の履修者は、それぞれの必修科目を必ず登録してください。（獣医学科の教職・学芸員課程の履修開始は 3 年次からです。）
 - 4) 教養教育科目の選択科目：必要な単位数分以上選択してください。

- 4 年次**：
- 1) 専門教育科目の必修科目：25 科目を必ず登録してください。
 - 2) 専門教育科目の選択科目：必要なものを選択して登録してください。
 - 3) 教職・学芸員課程の履修者は、それぞれの必修科目を必ず登録してください。
 - 4) 教養教育科目の選択科目：必要な単位数分以上選択してください。

- 5・6 年次**：
- 1) 専門教育科目の必修科目：必ず登録してください。（5 年次 15 科目、6 年次 5 科目）
 - 2) 専門教育科目の選択科目：必要なものを選択して登録してください。
 - 3) 教職・学芸員課程の履修者は、それぞれの必修科目を必ず登録してください。

◇再履修が必要な科目（特に必修科目）は必ず登録・受講するように計画を立ててください。

◇教職課程の履修者であっても専門教育科目の選択科目を 10 単位以上修得するようにしてください。

獣医学科：教養教育科目・専門教育科目一覧表

		1 年 次	2 年 次	3 年 次
全学共通教育科目		選択	自主創造の基礎 日本を考える (2)	
教 養 教 科 目	言語系科目	必修	英語 I A (1) 英語 I B (1) 英語 II A (1) 英語 II B (1)	英語 III A (1) 英語 III B (1) 英語 IV A (1) 英語 IV B (1)
		その他の外国語	初級ドイツ語会話A (1) 検定ドイツ語A (1) 初級フランス語文法A (1) 初級スペイン語文法A (1) 初級中国語文法A (1) 初級韓国語文法A (1) 日本語 I (1)	初級ドイツ語会話B (1) 検定ドイツ語B (1) 初級フランス語文法B (1) 初級スペイン語文法B (1) 初級中国語会話 (1) 初級韓国語会話B (1) 日本語 II (1)
人 文 ・ 社 会 系 科 目	選択	日本語表現の基礎 (2) 倫理学入門 (2) 心理学入門 (2) 文化人類学入門 (2) 法学入門 (2) 政治と現代社会 (2) 歴史学入門 (2) 日本の歴史 (2)	日本の文学 (2) 倫理の現在 (2) 行動心理学 (2) 環境の文化人類学 (2) 日本国憲法 (2) 経済学入門 (2) 社会学の現在 (2) 地理学の現在 (2)	哲学入門 (2) 個性の心理学 (2) 比較文化論 (2) 社会学入門 (2) 経済と現代社会 (2) 現代社会と福祉 (2)
	※基礎生物学	生物学入門 (2) 基礎地球科学 (2) 線形代数 (2)	基礎力学 (2) 統計学入門 (2) 物理学演習 (1)	基礎化学 (2) 推計学入門 (2) ※総合生物学 (2)
健康・スポーツ系科目	必修	スポーツ実践 I (1) 大技 II (1)	スポーツ実技 III (1)	スポーツ実技 IV (2)
総合系科目	選択	データサイエンスの基礎 (2) データサイエンスの世界 (2) 海外フィールド実習 (1)	情報科学 (2) 地球環境を考える (2)	科学史 (2) 生命倫理 (2)
基礎専門科目		選択		
専 門 教 育 科 目	導入・基礎獣医学	必修	獣医学概論 (2) 獣医学・動物福祉学 (2) 獣医解剖学A (2) 獣医解剖学B (2) 獣医生理学A (2) 獣医生理学B (2) 獣医生化学A (2) 獣医生化学B (2) 動物遺伝育種学 (2)	獣医組織・衛生学 (2) 獣医薬理学A (2) 獣医薬理学B (2) 動物行動学 (2) 実験動物学A (2) 放射線生物学 (1)
	病態獣医学	必修		獣医病理学A (2) 獣医病理学B (2) 獣医免疫学 (2) 獣医微生物学A (2) 獣医微生物学B (2) 獣医寄生虫学A (2)
応用獣医学	必修			急病学A (2) 急病学B (1) 獣医公衆衛生学概論 (1) 食品衛生学 (2) 毒理学 (2) 獣医疫学 (1)
臨床獣医学	必修			獣医内科学総論 (1) 獣医臨床病理学 (2) 獣医内分秘代謝病 (1) 獣医血液病 (1) 獣医皮膚病 (1) 獣医外科学/手術学総論 (2) 獣医臨床薬理学A (2)
実習	必修			獣医解剖学実習A (1) 獣医解剖学実習B (1) 獣医薬理学実習A (1) 獣医薬理学実習B (1) 獣医生化学実習 (1) 獣医微生物学実習 (1)
展開領域	必修			
目	選択	分子生物学 (2)	生物統計学 (2) 動物品種論 (2) 牧場実習 (1)	獣医臨床解剖学 (2)
広域基礎科目				生物資源科学概論 (2) 生物学概論 I (2)

(注) 教養教育科目について英語 I～IV及びスポーツ実技 I 以外の科目は、開講年次の指定はありません。
 (どの年次でも履修可能、1年次で英語 III・IV 以外の全科目を履修可能)
 教養教育科目の※印は必修科目です。
 英語以外の母語については、留学生は母語を履修することが出来ません。また、日本語 I・II は留学生のみ履修できます。
 基礎専門科目の修得した単位は卒業要件単位数に算入されません。

4 年 次	5 年 次	6 年 次	卒業に必要な単位数
			8
			24
			4
			1
			100
			160
			28
			22
			10
			184

広域基礎科目は教職課程を受講する学生のみ履修登録を認めます。ただし、「生物資源科学概論」は教職課程を受講していない学生であっても、履修登録を認めます。